



長浜市の市章

ひょうたんは、豊臣秀吉公の馬印であり、最初に城主になり長浜を始めた歴史を表現し、3つの波形が琵琶湖を表現しています。

新長浜市誕生

2010.1.1

長浜市、虎姫町、湖北町、高月町、木之本町、余呉町、西浅井町の1市6町が合併



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素より市政に対する温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、1月1日、記念すべきこの日、東浅井郡・伊香郡の6町の皆さんが加わった人口12万4千人、面積680平方キロの、新しい「長浜市」が誕生しました。

これも湖北地域の将来の発展を願う多くの皆さんのご理解とご尽力によるものと心から感謝申し上げます。市政を預かる責任の重さを考えますと、改めて身の引き締まる思いがいたします。

県内で最も広い市域を持つ大きな市となりますが、すべての市民の皆さんが「合併してよかった」と実感できる公平公正な行政運営と、幅広い

市民の皆さんが参画する市民主役のまちづくりを引き続き進展させてまいります。

現在は地方分権の時代です。幸い、新しい長浜市のなかには多様な歴史、文化、伝統、自然があり、画一的、形式的ではなく、それぞれの地域の特性を生かした取り組みにより地域の誇りにさらに磨きがかかるよう努めてまいります。

また、全長浜市の骨格を成しているのは、江戸時代に300諸国を自由に往来し時代の最先端を敏感に察知した近江商人のリスクを果敢にとった理性主義、合理主義にあると考えております。

これはグローバルな現在において、日本人に等しく求められている気概であり、気質です。私は、こうした伝統を守り、育て、そして合併により、多くの市民と、同じ未来、夢を共有し、湖北の英知を結集させることで、日本の最先端を走る長浜市をつくりたいと意を強くしています。

合併基本計画の将来像「琵琶湖の真珠 ひと・まち・みどり」が結び合う自律協働都市の実現に向けて、今後とも市民の皆さんのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。